

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 423

事務事業名	新幹線建設推進事業	
基本目標	050102	機能的で環境と調和したまち
政策		コンパクトで暮らしやすいまちづくり
施策		新幹線を活かしたまちづくり
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	都市計画課(新幹線まちづくり推進室)		
課長名	木村 政市	内線	158
担当者名	杉本 翔太	内線	601

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計		
款	2	総務費	
項	1	総務管理費	
目	6	企画費	
事業コード	220100	新幹線建設推進事業	

【PLAN(計画)】

対象(者)	市民及び企業		
意図	九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の建設推進のため、広報・啓発活動を行い、新幹線に対する理解を深める。また、新幹線の開業に向けて「新幹線を活かしたまちづくり」を推進していくために、気運の醸成を図ることを目的とする。		
事業概要	○広報・啓発活動(広報おおむら、大村市ホームページ、公共施設の活用) ○鉄道・運輸機構、県、地元、関係団体との調整 ○「大村市新幹線まちづくり推協議会」を設立し、新幹線開業に向け、「新幹線を活かしたまちづくり」の推進活動を実施する。		
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 34 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 広報おおむら、ホームページ等掲載回数	計画値	12	12	12	12	
		実績値	28	37	27		
	達成度	%	233.3%	308.3%	225.0%		
	②	計画値					
実績値							
成果指標	① ホームページアクセス数(新幹線関連)	計画値	20,800	35,000	60,000	51,000	
		実績値	32,309	55,583	47,177		
	達成度	%	155.3%	158.8%	78.6%		
	②	計画値					
実績値							
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	4,579	4,481	4,395	4,806	4,532	4,532	4,532	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	4,579	4,481	4,395	4,806	4,532	4,532	4,532	
② 人件費(千円)	15,258	16,174	13,438	20,693	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	1.85	2.05	1.55	2.35	・広報・啓発活動	・広報・啓発活動	・広報・啓発活動	
時間外勤務(時間)	93	156	559	877	・関係機関及び	・関係機関及び	・関係機関及び	
嘱託等人数(人)	0.20	0.20	0.75	1.00	・地元との調整	・地元との調整	・地元との調整	
フルコスト(①+②千円)	19,837	20,655	17,833	25,499	・大村市新幹線	・大村市新幹線	・大村市新幹線	
					まちづくり推進協	まちづくり推進協	まちづくり推進協	
					議会の活動	議会の活動	議会の活動	

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	○新幹線に関する広報・啓発活動を実施した。(市ホームページ・広報おむら) ○新幹線沿線住民に対して長崎県や鉄道・運輸機構が実施する、用地・工事に関する説明会に同行し、地元や関係団体等との調整を図った。 ○市内の工事についても全工区が着手され、順調に進捗している。 ○行政・市議会・商工会議所をはじめとする関係団体を会員とした「大村市新幹線まちづくり推進協議会」を設立し、広報啓発活動などを実施した。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	新幹線の建設や「新幹線を活かしたまちづくり」を推進していくために、広報・啓発活動を積極的に実施する必要がある。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	新幹線の整備は国、県、市及び鉄道・運輸機構が一体となり推進する必要がある、大村市の関与は不可欠である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	成果指標は計画値を達成できなかったが、新幹線の建設や「新幹線を活かしたまちづくり」の推進にあたり、情報を発信することは、非常に有効な手段である。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	新幹線が開通することにより、新たな高速体系が充実し、西九州地域と中四国・関西方面との交流人口が拡大し地域の活性化が期待される。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	協議会等負担金については、県内一体となった取組を実施するための必要な経費であり削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	協議会等負担金については、県内一体となった取組を実施するための必要な経費であり見直しの余地はない。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	新幹線の建設を推進するために、広報・啓発活動や関係機関との調整を図り、市民の理解を深める。また、新幹線の開業効果を最大限に活かすために「大村市新幹線まちづくり推進協議会」の活動を推進する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	新幹線の建設、新幹線を活かしたまちづくりの推進が図られる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。